

ほんべつ 議会たより

No.112

2025年(令和7年)
2月1日発行



新しい挑戦!! ワクワク♪ドキドキ♡

1月13日 初めてのスケート教室

発行／北海道本別町議会 編集／広報広聴常任委員会 北海道中川郡本別町北2丁目4番地1 TEL 0156-22-8123
FAX 0156-22-2147

議会のホームページでは定例会の会議録や活性化の取り組みなどを公表しています。

本別町議会

検索



令和6年度 とかち創生学 模擬議会

本別高校模擬議会

本別高校2学年による議会提案

4回目の開催となる、本別高校2学年による総合的な探究の時間「とかち創生学・模擬議会」が12月17日、本会議場で行われました。

模擬議会では、生徒が説明員席（通常の議会では特別職、課長職が座る席）に着き、とかち創生学で取り組んできた、生徒が考える町の課題と解決策を議員に提案しました。

本別町の空き地活用

空き地を活用し、サバイバルゲーム会場を開設することで、町の活性化を目指します。観光客誘致を図るとともに、食事や筋トレ施設、空襲や戦争の歴史を学べる展示などを複合的に運営することで、幅広い層に楽しんでもらえる場を提供します。

本別町の空き家の利活用

空き家を活用した、若者世代の居場所づくりを提案します。Wi-Fiがあり、飲食や読書などが楽しめる居場所として、状態の良い空き家や小規模修繕で利用可能な空き家を活用することによって、空き家問題の解決にもつながります。

問 管理や運営の主体はどのように考えていますか。

答 個人などで運営していくには難しいと考え、行政でやっていたくのがベストだと考えます。

問 高齢者や小中学生など、居場所を求めている、連携が必要では。

答 まずは若者世代でやってみて、コミュニケーションが取れる場を広げていきたいと考えます。



本別町に新設される温浴施設

足湯イベントを通し、温泉へのニーズが高いことが分かりました。新たに建設される温浴施設については、食事・サウナ・休憩スペースなどを整備し、町内外からも人が集まり、幅広い年代に利用してもらえよう施設を提案します。

問 町内に温泉があるべきと決めた根拠は。

答 アンケートでは町外の方がほとんどでしたが、町内の人でも温泉を昔利用していたので、ないと寂しいという声も多くあり、ないよりはあったほうがいいと考えました。

本別一のスイーツ作り

若年層にも評判になるような本別町の特産品を使ったスイーツとして、本別町産のきな粉を使用した「おせきなソフトクリーム」を販売し、町をPRすることを提案します。

問 おせるというところに着目した理由は。

答 おいしきプラス、インパクトがあったほうが、SNSでバズる（注目が集まる）と思ったからです。

12/3



本別高校の1学年32人が探究学習の授業の一環として、議会傍聴を行いました。

多い? 少ない? 現状維持?

どうすべきか?

議員の定数と報酬



令和6年12月12日に本別町議会議員定数および報酬に関する調査特別委員会（高橋利勝委員長）を設置し、現在、議員定数と報酬の在り方について協議しています。今後は町民の皆さまの声を聞きながら本別町議会にふさわしい定数と報酬の在り方を研究していきます。

議員定数
12人

平成2年
(1990年)
20人

平成14年
(2002年)
18人

平成18年
(2006年)
15人

平成22年
(2010年)
12人

11	9	7	5	3	1
12	10	8	6	4	2

議員定数は人口規模ごとに上限が定められていましたが、平成11年5月に成立した地方分権一括法により地方自治法が改正されたことに伴い、法定上限の範囲内において地方公共団体自らが条例で定数を定めることが可能となりました。

本別町議会では、平成14年に「議員の定数を定める条例」を制定し、議員定数上限値を18人とし、それまでより2人削減しました。

その後、平成18年の一般選挙からは15人とし、さらに、平成20年12月に設置した「本別町議会の活性化等調査特別委員会」での審議を経て、平成22年の一般選挙からは12人に削減し、現在に至ります。

十勝管内の平均
12.2人

うち、人口が同規模の
議会の平均
12.4人

(令和5年7月現在)

議員報酬は平成8年1月の見直し以降、現状維持としていましたが、平成16年4月に町特別職報酬等審議会の答申を受け、議員報酬を削減しました。さらに、平成17年4月にも削減し、現在に至ります。

議員報酬

月額 **18万5千円**
(一般議員)

	(平成8年～)		(平成16年～)		(平成17年～)
議長	310,000円	→	305,000円	→	292,000円
副議長	245,000円	→	240,000円	→	230,000円
常任委員長	218,000円	→	213,000円	→	204,000円
議員	198,000円	→	193,000円	→	185,000円

十勝管内の平均
192,444円

うち、人口が同規模の
議会の平均
188,778円
(令和5年7月現在)

町民アンケートを実施します

議会では、町民の皆さまに議員定数と報酬などに対するお考えを伺うため、無作為抽出によるアンケート調査を実施します。アンケート調査表がお手元に届いた人は、郵送又はWEBにてご回答くださるようご協力をお願いします。

- ・調査対象 18歳以上の町民900人（無作為抽出）
- ・調査方法 郵送で配布しますので、回答後に返信用封筒に入れて郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。（調査表に記載しているQRコードによるWEB回答も可能です）
- ・調査期間 3月16日（日）までに投函又はWEB回答願います。

令和6年

議会傍聴者および議会中継視聴者数

会議名及び開催日	傍聴者	議会中継視聴者	会議名及び開催数	傍聴者	議会中継視聴者
第1回定例会（3/5～3/22）	49	286	議会運営委員会（21回）	20	
第2回定例会（6/4～6/14）	18	64	総務常任委員会（7回）	6	
第3回定例会（9/3～9/13）	14	35	産業厚生常任委員会（10回）	9	
第4回定例会（12/3～12/12）	43	116	広報広聴常任委員会（18回）	6	
小計	124	501	小計	41	
第1回臨時会（1/30）	2	26	予算審査特別委員会（3回）	0	97
第2回臨時会（4/30）	3	20	決算審査特別委員会（3回）	4	68
第3回臨時会（8/9）	4	14	定数・報酬調査特別委員会（1回）	0	
小計	9	60	懲罰特別委員会（1回）	0	
			議員協議会（16回）	6	
			町民懇談会（1会場2回）	9	※参加者
			小計	19	165
			合計	193	726

※YouTubeは生中継中の最大同時視聴者数を計上。

7人の議員から10問

町政を問う!

一般質問

新技術導入や災害時のドローン防除の補助を

答 JA本別と連携を深め進めていきたいと思います



うし わか ひろ ゆき
丑若浩行議員

丑若議員 町長の公約のうち農業振興に関する取り組みと、今後の展開について伺います。

①スマート農業推進のための具体的取り組みについてお聞きします。また、可変施肥などの新技術の導入による施肥の削減や、災害時のドローン防除への補助を考慮しては。

②高収益作物を新規栽培する場合やブランド化を目指す事業者には、行政としてバックアップしていくべきでは。

③新規就農者や就農直後は非常に負担が大きく補助が必要です。若い農業者が守られているという気持ちを持つて営農していただきたいですが、見解を。



進化していく農業現場

佐々木町長 ①自動操舵付きトラクターは130台に増えています。新技術・ドローンに関しては、JA本別とも連携を深めながら進めていきたいと思います。

②他の農業経営体の意見を聞き、公平・公正であると判断できれば新規作物導入等の意欲のある方に、しっかりと支援をしていきたいと考えています。

③農業担い手対策としての国の事業を活用しながら、町としても支援していきたいと思っています。

道の駅駐車場の改善を

答 看板や標識の設置、車種別の掲示など行ってきました



あ ぼ し ず お
阿保静夫議員

阿保議員 道の駅は駐車場への入り口が狭く、大型バス等は駐車場への侵入に苦労しているように見受けられます。

①利用者や関係者の声はどのようなものがあり、どう対応してきたか伺います。

②今後の道の駅の在り方について、どのように考えていますか。

佐々木町長 道の駅は重要な観光拠点となっています。

現在の駐車場は、中央、西、南駐車場で111台分が整備されています。

①利用者からは駐車場が分かりづらい、狭いなどの声があり、看板や標識の設置、車



利用しやすい駐車場を

種別の駐車場所の掲示など行ってきました。

また、大型バスでは手狭だと認識していますが、現状を理解し利用いただいています。

②快適な利用とリピーター増のためにも環境整備に努めていきたいと考えます。

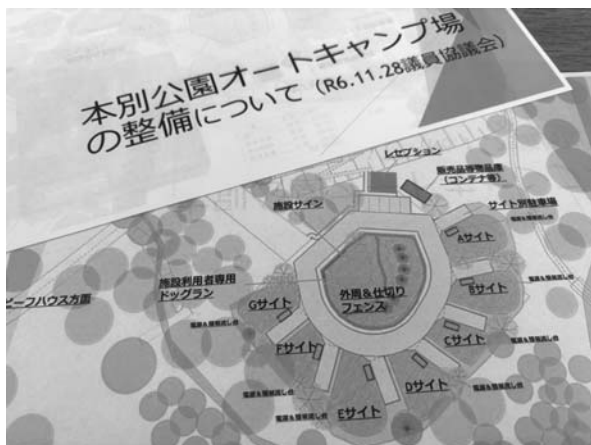
阿保議員 利用者の生の声を聞く方策等がありますか。

佐々木町長 アンケート等が効果的かと考えています。

もしも博士かも

ペロブスカイト太陽電池とは…

軽量で柔軟性がある点が特徴の太陽電池で、比較的容易に製造できるため、太陽光発電をさらに普及させる次世代の製品として注目されています。



オートキャンプ場構想

水谷議員 静山研修センター跡地にオートキャンプ場を建設するに当たり、太陽光発電設備を設置し、キャンプ場のゼロカーボンパーク化を目指すとしています。が、実態を伺います。

①太陽光パネルの設置には本別公園の景観を損なわずに、適切な場所に設置するべきです。

現在、日本製のペロブスカイト太陽電池が開発されており、この日本製を設置するべきと考えますが。

②第一キャンプ場隣にある温泉跡地の駐車場にはメタンガスが出る場所があり、自然エネルギーとして活用できるものなのか調査する必要があると考えますが、見解は。



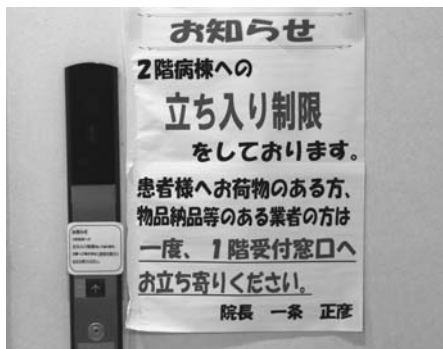
みずたに れい こ 水谷令子議員

オートキャンプ場のゼロカーボン化の実態は
答 本別公園をSDGs・脱炭素を深く
学ぶ場とします



みやもと 宮本やよい議員

町国保病院での面会制限見直しを
答 年明け早々に見直しを進めたいと考えています



いつまで続ける面会制限

佐々木町長 ①本別公園をSDGs・脱炭素の理解を深める学びの場として、具体的な事業を令和7年度から進める予定です。

太陽光パネルは景観の配慮は必要ですし、小さな規模になると思います。素材も含め、これから調査・研究を進めま

②当駐車場は国が所有しており、今後、関係機関と協議し調査する必要があるかどうか含め検討します。

面会制限の実態は。

②家族の存在は絶大で、どのような薬でも家族の存在には勝てないと考えます。手を握ったり背中をさすったり、そばにいる、それだけで不安は軽減し痛みも和らぎます。そういう意味でも面会は重要だと思いますが、考えは。

佐々木町長 ①現在、主治医の許可がある場合を除き、原則面会をお断りしております。しかし重症度の状態により、親族を対象に少人数・短時間で面会いただいています。また、直接面会できない方はオンライン面会を予約制で受け付けています。

②私も全く同感だと感じています。患者さんの思い・家族の思いを大切にしながら、面会制限の緩和を進めていきたいです。私といたしましては、年明け早々に見直しを進めたいと考えています。

もしも博士かも

隙間バイト (スキマバイト) とは…

長期雇用契約を結ばずに自分の都合の良い時間だけ働けるアルバイトです。アプリなどを介して事業者と働き手のマッチングが行われます。



地域交通の担い手確保・運転手養成を

答 運転手確保、地域交通維持の取り組みを進めます



うめむらともひで
梅村智秀議員

梅村議員 地域交通サービスを持続可能なものにするためにも運転手の確保は喫緊の課題です。

①退職後も地域貢献へ意欲を示す高齢者や、季節によって時間的自由度が高い農業者などが担い手の候補となり得ます。また、地域交通に従事



どうする？運転手確保

する地域おこし協力隊の募集を行うなど、まずは人材確保を行うことが効果的で、交通サービスに従事する方に対する育成支援等を行うべきです。

② 隙間バイト 的にレンタカーを利用して二セコで実証実験を行った事業者が管内にあり、国もモデルになる取り組みを支援する動きもあります。本町でも新しいものを取り入れていく必要があるのでは。

佐々木町長

①官民問わず後継となる運転手人材の確保は重点課題と認識しています。ご指摘のような人材活用は有効ですが、安全確保、コスト面などの課題整理が必要です。隙間バイト的に運転手確保ができるのが一番良いと考えます。

②地域の方々に提案等があれば前向きにご相談にお伺いしたいと考えております。

本町のし尿くみ取り体制は

答 処理料や搬送助成金の見直しを含め検討を進めます

梅村議員

許可事業者は町内に1社のみで人件費、車両維持管理費等も上昇しており、大幅なくみ取り料金改定を行わなければ、事業継続が困難な事態にも陥りかねません。利用者となる町民も物価高騰などで生活費の負担が重いため、その全てを受益者負担とすることは適当ではなく、町内の公衆衛生環境維持のためにも持続可能な体制構築が必要です。

①令和3年からの計画に、手数料や搬送助成金の見直しが記載されていますが、検討されていない実態があったのは町の落ち度です。

②同じ廃棄物処理関連のごみ収集委託料は、5年間で4割前後の増となっていますので、くみ取り料金も、持続可能な状態にしなければならぬのでは。

③いつまでに見直しますか。



持続可能な体制構築を

佐々木町長 ①見直しに関し、ここまでやってこなかったのは確かに落ち度です。

②ごみ収集も料金が上がっています。くみ取り料金だけおさなりになっていたことは反省をします。

③令和7年4月1日を目標とし、手数料・処理料の額および搬送助成の割合を定めま

こども家庭センターの早期設置を

答 令和8年度の設置に向け進めていきます



ふじ た なお み
藤田直美議員

藤田議員 令和5年、こどもまんなか社会を目指しこども家庭庁が創設され、市町村はこども大綱を勘案し、こども政策についての計画を定めることとなっています。

具体的な実施について伺います。

①本町のこども・

子育て政策の方針は。②本町の特徴を盛り込んだ計画にする考えは。③母子保健・児童福祉を一体的に行つ、こども家庭センターの早期設置に努めるべきでは。④貧困・虐待・ヤング



こどもまんなか社会を目指して

①39歳以下の若者を対象とした切れ目のない支援を検討しています。②子どもと若者へのアンケート結果を踏まえ課題を洗い出し、それに対応したサービスを検討します。③問題解決の中心となるよう令和8年度の設置に向けて進めていきます。

ケアラー・不登校等多様なニーズに応えるため、教育相談もセンターで担うべきと考えますが、見解は。

佐々木町長

④こども家庭センターを子どもに関する相談窓口として明確化し、個々の事案において都度担当課と連携し対応します。

部活動の地域移行などの状況は

答 指導者確保などの課題について検討を進めています



か とう て つ み
加藤徹己議員

加藤議員 中学校の部活動を地域や民間に委ねる地域移行と、町長の公約にも係る総合型地域文化・スポーツクラブの創立に向け、各協議会で検討されていますが、これらスピード感を持って取り組むべきと考えますが、以下について伺います。

①部活動の地域移行への取り組み状況は。②文化・スポーツクラブ創立に向けての取り組み状況は。③地域移行とスポーツクラブを併合した取り組みが本町に即していると考えますが、見解は。

高橋教育長 ①部活動は学校教育の一環であり、地域指導

者確保などの課題について検討を進めています。②視察や研修・体験会などを開催し、地域でどのような取り組みが可能か検証し、今年度中に方向性を定めます。③国は、部活動は地域全体で幅広く活動を保証する観点から、地域移行の名称を地域展開に変更しました。本町も、部活動の地域展開にはスポーツクラブと連携しながら進めていきます。



地域で支える部活動へ

本別高校のとがち創生学を町の活性化に

答 町民の模擬議会の傍聴など本別高校と協議検討します



高校生の視点をまちづくりに

ると考えますが、見解を伺います。

② 探究コーチとしての関わりは、職員のスキルアップにもつながっているとの考えです。

③ 他の取り組みとして、町の魅力を伝えることが、町の活性化の第一歩であり、ほんべつ学での研修等の取り組みを続けていく必要がありますが、見解は。

高橋教育長 ① 今後、模擬議会の傍聴や高校生の発表を伺うことが可能かどうか、本別高校との協議を検討します。

② 高校生と共に解決策を考えることは、職員の資質向上につながっていると考えます。

③ ほんべつ学では、初任職員のバス研修や戦争跡地ツアーなど開催してきました。今後、実際に体験するフィードバックと資料を使った講座など検討していきます。

しごと体験交流館の冬期開館再開を

答 費用対効果が見込めず現在開館する予定はありません

梅村議員 利用対象は町内事業者での就労体験や研修計画を持った方で、担い手確保、新規起業や就農、企業誘致にもつながる可能性があります。

また、滞在者の飲食店利用や生活用品購入に伴う経済効果もあります。

私が冬期間閉館を知ったのは、利用希望者から「冬期利用できない」と連絡があったからです。その他複数の方からも利用したいとの意向を把握しており、移住者や関係人口を得る大きな機会損失にもなりかねないと考えますが。

佐々木町長 本町への定着を図ることを目的に設置をし、これまでの効果として施設利用者のうち9人が移住に結びつきました。

冬期の利用実態は極端に少なく、水道凍結防止のため開閉栓作業をその都度職員が対応している状況です。施設利



現在、冬期閉館中

用料金を得ても、事前暖房や利用者が使用した電気料金など施設利用に係る費用対効果が見込めず、現在開館する予定はありません。

今後検討を重ね、見直す場合もあり、冬期間全て閉館ということには固執していません。

令和
6年

賛否の分かれた表決

令和6年中に開催された本会議では、町提出議案66件、議員発議4件、意見書4件など合計102件の採決が行われました。今回掲載するのは、本会議中に賛否が分かれた議案（特別委員会と無記名投票による採決は除く）となります。

議員名及び議決結果 議決日及び議案名		宮本 やよい	加藤 徹己	丑若 浩行	水谷 令子	梅村 智秀	石山 憲司	藤田 直美	方川 一郎	高橋 利勝	阿保 静夫	柏崎 秀行	篠原 義彦	議決結果
臨時会 1/30	令和5年度本別町一般会計補正予算（第19回） 【主な補正内容：循環バス修繕】	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	議長	可決
定例会 3/5	令和5年度本別町一般会計補正予算（第21回） 【主な補正内容：病院操出金】	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 3/5	令和5年度本別町国民健康保険病院事業会計補正予算（第7回）【主な補正内容：病院操入金】	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	○		可決
定例会 3/12	議員辞職の件【柏崎秀行議員】	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	欠		辞職許可

議員名及び議決結果 議決日及び議案名		宮本 やよい	加藤 徹己	丑若 浩行	水谷 令子	梅村 智秀	石山 憲司	藤田 直美	方川 一郎	阿保 静夫	高橋 利勝	篠原 義彦	議決結果
定例会 3/22	令和6年度本別町一般会計予算	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○	議長	可決
定例会 3/22	令和6年度本別町後期高齢者医療特別会計予算	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○		可決
定例会 3/22	令和6年度本別町国民健康保険病院事業会計予算	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		可決
定例会 3/22	教育委員会教育長任命について同意を求める件	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		同意
定例会 3/22	本別町名誉町民の選定について同意を求める件	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		同意
臨時会 4/30	本別町税条例の一部改正	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		可決
定例会 6/4	町議会議員による飲酒運転事故ならびに身代わりによる事故届け出がなされた疑いについて事実究明を行い町および町議会の名誉を守ることを求める請願書	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×		不採択
定例会 6/4	令和6年度本別町一般会計補正予算（第2回） 【主な補正内容：名誉町民記念品】	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		可決
定例会 6/14	議員報酬の減額支給に関する条例の制定【議員報酬1か月一律50%減額／提出者：梅村議員】	○	×	○	×	○	×	×	×	×	×		否決
定例会 6/14	飲酒運転撲滅を宣言する決議	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		可決
臨時会 8/9	専決処分の承認を求める件〔給水設備漏水事故に係る和解及び損害賠償額を定めること〕	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		承認
臨時会 8/9	専決処分の承認を求める件〔令和6年度本別町水道事業会計補正予算（第1回）〕【主な補正内容：損害賠償金】	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		承認
定例会 9/13	地方財政の充実・強化に関する意見書【提出者：高橋議員】	×	○	○	○	×	○	○	○	○	○		可決
定例会 12/3	令和5年度本別町一般会計歳入歳出決算認定	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		認定
定例会 12/3	令和5年度本別町介護サービス事業特別会計歳入歳出決算認定	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		認定
定例会 12/3	令和5年度本別町国民健康保険病院事業会計決算認定	×	○	×	○	×	○	○	○	○	○		認定

※賛否の欄 ○：賛成、×：反対・棄権・態度保留、欠：欠席 ※議長は採決には加わりません



第4回

定

例

会

御所使用料収入増など

補正予算等を可決

令和6年第4回定例会は12月3日に開会し、各会計補正予算などを審議しました。
審議された内容は次のとおりです。

一般会計補正

御所の冬期営業

問

本別公園内の御所の利用実績と冬期営業に伴う手間などは。

答

令和4年度から冬期営業を始めていますが、1月から3月までの利用実績は40棟前後です。
1、2日前からの暖気、通路の除雪作業、利用後には便座を外しての水落し作業などが必要となります。



冬期も利用できる御所

福祉灯油

問

対象世帯は。

答

令和6年12月15日現在住民登録されている人のうち、世帯全員が65歳以上、または障がい者手帳を持っている人がいる世帯、ひとり親世帯で令和6年度の町民税が非課税の人

で、令和5年中の世帯全員の収入がそれぞれの基準以下の世帯が対象となります。

福祉除雪用機器



貸し出し用の除雪機

問

具体的な内容と利用の想定は。

答

除雪スコップやスノーダンプ、手押し式除雪機11台の購入、ミニショベルの借り上げなどをします。

事前に実施した自治会アンケートを基に、モデル地域を選定して除雪機の貸し出しを考えています。

児童手当

令和6年10月から児童手当制度が次のとおり拡充されました。

これから			今まで		
0～2歳	1万5千円	第3子以降 3万円	0～2歳	1万5千円	
3歳～ 小学生	1万円		3歳～ 小学生	1万円	第3子以降 1万5千円
中学生	1万円		中学生	1万円	
高校生	1万円		高校生	なし	
所得制限	制限なし		所得制限	制限あり	

問 国の制度改正により、新たに対象となる人は申請が必要なのか。

答 高校生だけ扶養している家庭や、今まで所得制限で支給されていなかった家庭は、申請が必要になります。

条例改正

国民健康保険税条例の一部改正

国保財政の運営維持と、令和12年度の保険料率の全道統一に向けて、令和7年度に国民健康保険税の税率を改定します。

問 保険税の引き上げによる影響額は。

答 1世帯当たりの平均で1万5千円程度、率にして5・62%上昇の見込みです。

財産の取得

消防庁舎移転新築用地の取得

問 用地取得後の消防庁舎移転のスケジュールは。

答 令和7年度まで設計業務を行い、8年度に用地造成、9年度から10年度に庁舎建設や外構工事

を行い、11年度に新しい消防庁舎に移転します。

令和7年1月13日から
教育委員会委員になる
うし わか り え
丑 若 理 恵 氏
(勇足東2)

の任命(再任)に「同意」
しました。



消防庁舎建設予定地(坂下町)

次の定例会は
3月4日(火) 開会
12日(水) 一般質問・ナイター議会
を予定しています

令和6年度各会計補正予算

会 計	(補正額) 補正後の額	主な内容
一 般 会 計	(1億2,202万8千円) 76億8,181万5千円	福祉灯油事業および福祉除雪事業の実施による増など
特 別 会 計	(1,340万円) 10億350万円	療養費の執行見込みによる増など
	(△17万4千円) 10億4,337万2千円	介護予防ケアマネジメント委託に関する経費の増減など
	(△1万6千円) 3億418万1千円	執行見込みおよび執行残の計数整理による減など
水 道 事 業 会 計	(3万3千円) 4億5,196万7千円	企業債利息額の増
下 水 道 事 業 会 計	(14万5千円) 7億4,381万円	企業債利息額の増
病 院 事 業 会 計	(△1,118万8千円) 14億7,229万3千円	人事異動等に伴う人件費の調整および経費の調整による減

総務常任委員会

オーストラリア・ミッチェル、徳島県小松島市との交流事業の取り組みと課題

10/18

1. 姉妹都市・ミッチェルとの交流について

昭和60年、町民ジェット海外訪問団がオーストラリア・キルモア町（現ミッチェル）を訪れて以降、相互訪問団の受け入れ事業を行っています。

これまでの主な交流として、本町の中高生が訪問し、ホームステイなど生活文化交流を行うほか、国際交流員を招き、町内小中学校での英語指導や町民の国際理解教育に携わりました。令和2年からこども英語チャレンジ事業として英語指導者を招き、こども園や小中学校で英語教育に携っています。

2. 友好都市・小松島市との交流について

明治30年、立江村（現小松島市）から200余戸が勇足地区に入植し、利別農場を開拓した歴史があり、平成3年から立江小学校と勇足小学校の相互交流が開始されました。

平成11年からは小松島市と本別町の職員相



互派遣が開始され、現在は両市町のイベントの機会に短期間派遣を行っています。

まとめ

交流事業は、国際対応能力の育成や多文化共生社会の実現に重要であり、都市との友好を深めながらお互いの行政発展につながる取り組みを期待します。

産業厚生常任委員会

町国保病院の運営・経営状況について

10/22

1. 現在の取り組み

新たな患者の掘り起こしとして、人間ドック受診者の増や再検査への受診勧奨、老人ホーム等の施設との連携、地ケア病棟セレクション会議を開き地域包括ケア病床の利用増を目指し取り組んでいます。

地域連携室では、在宅復帰機能強化を図るとともに、総合的サービスに努め、患者・家族に寄り添ったサービスを提供しています。

2. 令和6年度の経営状況

- ・一時借入金として、年内に1億5千万円から2億円程度の借り入れを見込んでいます。
- ・医療収益は、9月末までは入院が対前年比約10%の減、外来が対前年比1%の増ですが、年度末には昨年同様の6億1千万円程度を確保できるよう努めています。

まとめ

町国保病院は、24時間救急体制や専門外来の招聘など、利益の生みにくい部門も維持しながら病院運営・経営に取り組んでいます。今後とも、町国保病院が町民のよりどころとして、患者の気持ちに寄り添った医療を提供することを望みます。



院内で開催されたクリスマスミニコンサート

行政報告

第4回定例会（12月3日開催）において、町長および教育長から行政報告がありました。（抜粋）

令和7年度予算編成方針

本町の財政運営については、これまで、町債の減などにより、各種財政指標の上では健全財政を堅持しているものの、引き続き予算の重点化、効率化を図る中で、経常経費の削減、基金依存の解消、公債費負担軽減などに取り組み、「歳入に見合った歳出」の原則のもと、行政諸課題への適切な対応を実現できる持続可能なで安定した財政運営に努めたいと考えています。

一般会計の財政規模は、87億円程度を見込んでおり、「第7期本別町総合計画」に基づいた、地域活力を維持する取り組みを推進し、町民の皆さまと協働したまちづくりを展開したいと考えています。

本別町立仙美里小学校の統合に向けた経過報告

仙美里小学校閉校後の本別中央小学校への統合に向けた取り組みについては、児童の教育環境の変化に対応するため、仙美里小学校・本別中央小学校合同授業や合同遠足を実施しており、また保護者についても、合同参観日などの実施や、教職員も含めた交流会を開催するなど、統合後の良好な教育環境の構築を進めています。

閉校記念事業等の取り組みについては、「仙美里小学校閉校記念事業協賛会」が設立され、協賛事業として、記念看板の設置、記念誌の編集、閉校記念運動会における「玉入れ」と「餅まき」等が実施されたほか、令和7年2月23日には「閉校記念式典」の開催が予定されています。今後も、児童や保護者、地域の方々の思いを尊重し、仙美里小学校の本別中央小学校への円滑な統合を進めていきます。

写真で見る議員活動

11/18

本別公園清掃ボランティア（議員会）



12/26

第11回向上会（学び働く議員会）



議会日誌

〔11月中旬、下旬〕

- 19日 議員協議会
- 26日 一部事務組合議会（帯広市）
- 28日 議員協議会
- 29日 議会運営委員会



〔12月〕

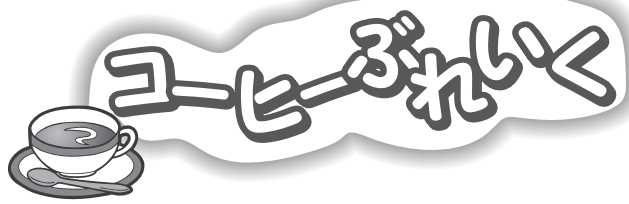
- 3日 第4回定例会開会、総務常任委員会、産業厚生常任委員会
- 5日 議会運営委員会
- 11日 第4回定例会（一般質問）
- 12日 第4回定例会（議案審議）、議会運営委員会、議員協議会、広報広聴常任委員会
- 17日 模擬議会（本別高校2学年）、定数・報酬に関する調査特別委員会
- 25日 懲罰特別委員会
- 26日 広報広聴常任委員会



〔1月〕

- 10日 定数・報酬に関する調査特別委員会
- 14日 広報広聴常任委員会
- 16日 議会運営委員会、議員協議会、定数・報酬に関する調査特別委員会
- 20日 広報広聴常任委員会
- 23日 定数・報酬に関する調査特別委員会
- 31日 第1回臨時会、定数・報酬に関する調査特別委員会





今回は、昨年12月に行われた、本別高校2学年の総合的な探究の時間「とかち創生学・模擬議会」で発表を行った生徒を代表して、9人にお話を伺いました。

答える苦悩

今回の模擬議会では、質疑の事前通告は行わず、生徒の発表を聞いてその場で質疑が行われました。初めての体験に、「質疑が高校

生とは違う視点なので、答えるのに時間がかなり苦労した」「事前に質疑内容が分からないので、班内でたくさん話し合い、答えを出すまでに大変悩んだ」「一度にたくさんさんの質疑があり、学校でやっていたのとは違うなと思った」「長めの質疑では、班の中で内容をまとめてくれて答えることができた」「想定問答など考える経験ができて、考えていたとおりの答弁ができた」と感想を述べていました。新たな経験や発見もある中、議場では生徒がとても

堂々と答えていたのが印象的でした。
とかち創生学が魅力的
本別高校の良いところを聞くと、「吹奏楽部があととし全道大会へ行き、すごくカッコいいな」と思い、自分も吹奏楽部で活躍したいと思った」「検定や模試などの受験料の補助があり、お金のことを気にせずに挑戦できる」「とかち創生学は大変だけどすごく魅力的だと思う」など語ってくれました。

好きを仕事にしたい
最後に将来の夢を尋ねると、「機械系の仕事をやりたい」「国語が得意なので、言葉を扱う職業に就きたい」「子どもが好きで、保育士や幼稚園教諭に興味がある」「ネイリストになって本別に戻ってきたい」「地元で貢献できて、自分が好きと思う仕事をしたい」など、一人ひとりしっかりと将来を考えていました。
本別高校生の皆さん、今後の活躍に期待しています！



きむら こたろう
木村 琥太郎さん



さとう りゅうせい
佐藤 隆生さん



おおわだ かのん
大和田 花音さん



わたなべ かりん
渡辺 華凜さん



やぶき ゆめ
矢吹 憂芽さん



おおわだ ゆいな
大和田 唯菜さん



やとう あきほ
矢藤 秋穂さん



つかたに みおり
塚谷 美織さん



たけだ あやか
武田 彩花さん

議会のホームページでは、過去の議会中継や議会だよりをご覧になることができます。



議会中継



議会だより

議会報告会・町民懇談会のお知らせ

4/23(水) 午後6:30～	4/24(木) 午後6:30～	4/25(金)
仙美里地区公民館 美里別地区公民館	町体育館 勇足地区公民館	希望される自治会 や団体に伺います

詳細は改めてお知らせしますが、議会活動や町政についてのご意見の他、現在、特別委員会を設置して議論している議員定数・報酬についても、皆さんのご意見をお聞かせください。